

「自分たちにできること、オンラインだからできること」 聖学院大学 復興支援“オンライン”スタディツアー 工夫を凝らし、途切れることなく開催することができました

聖学院大学(埼玉県上尾市、学長:清水正之)ボランティア活動支援センターと復興支援ボランティアチーム SAVE は、2020年8月29日(土)、30日(日)の2日間にわたる、オンラインによる釜石市との交流、『復興支援“オンライン”スタディツアー』を開催しました。スタディツアーには聖学院大学の学生および教職員、31名が参加。そのうち、全参加者の凡そ1/4となる8名の参加者は今年入学した1年生でした。

聖学院大学は2011年の東日本大震災の発生以降、毎年、春、夏、冬に、被災地を訪問して交流するツアーを実施してきました。今年はコロナ禍の影響で現地を訪問するスタディツアーは実施できませんでしたが、SAVEの学生たちはGoogleストリートビューを活用したオンラインの市内名所巡りや、現地のおみやげ品を紹介する動画を作成するなど、様々な演出でオンラインのイベントを盛り上げました。「災害の記憶を風化させたくない」と語るSAVEの代表、玉之内菖さんは、オンラインという形ではあっても、今年も無事開催できたことにほっとした表情を見せていました。

初日の宝来館女将 岩崎昭子さんの講演の中で、震災後10年となる来年は、10年間の活動を学問として発表するイベントを一緒に開催したいという提案がありました。

2日目は震災後に釜石に移住し、現在も現地で活躍されている高橋和義牧師の話の話を聞きました。オンラインで現地、釜石の2人の講演を聞いて、「釜石の現状を知ることができた」「釜石からの想いに刺激を受けた」「オンラインの可能性を感じた」などの学生の感想がありました。



バスの運転手に扮してツアーを進行する SAVE メンバー



ボランティア活動支援センター職員による釜石の紹介

◎スタディツアー概要

8/29(土) 10:00～15:30

オンライン釜石市内見学、おみやげ品紹介、宝来館女将 岩崎昭子さん講演

8/30(日) 13:30～15:30

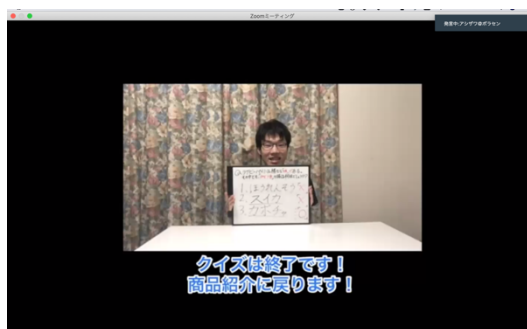
高橋和義牧師による礼拝と講演、振り返りセッション

主催: 聖学院大学ボランティア活動支援センター

共催: 復興支援ボランティアチーム SAVE



Google ストリートビューを活用した釜石市内名所巡り



現地のおみやげ紹介動画



宝来館 女将 岩崎昭子さん



高橋和義 牧師

聖学院復興支援ボランティアチーム【SAVE】(Seigakuin All-Volunteer Effort)

東日本大震災をきっかけに 2011 年に発足された聖学院大学の復興支援学生団体。2012 年に設置された聖学院大学ボランティア活動支援センターと連携し、釜石を訪問するツアーや防災企画に取り組んでいます。

※学校法人聖学院はグローバル・コンパクトに署名・加入、SDGs をめざした活動を行っています。

※SDGs…2030 年までの実現をめざし掲げられた、17 の目標と 169 のターゲットからなる「持続可能な開発目標」



【お問い合わせ】

聖学院大学 広報課 担当 松崎・神吉

Tel:048-780-1707 Email:pr@seigakuin-univ.ac.jp

《参考》

学校法人聖学院

創立 1903 年

〒114-8574 東京都北区中里 3-12-2

【教職員の概要(本務)】

大学教員 97

中高教員 114

小幼教員 32

教員計 243

職員 119

※ 教職員数は 2019 年 5 月 1 日現在(大学院ならびに総合研究所教員は大学教員の内数)

【聖学院各校情報】

所在地 学校法人聖学院

〒114-8574 東京都北区中里 3-12-2

聖学院大学・聖学院大学大学院 学生数:2,109 人

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎 1-1

聖学院中学校・高等学校 生徒数:900 人

〒114-8502 東京都北区中里 3-12-1

女子聖学院中学校・高等学校 生徒数:764 人

〒114-8574 東京都北区中里 3-12-2

聖学院小学校 児童数:429 人

〒114-8574 東京都北区中里 3-13-1

聖学院幼稚園 児童数:129 人

〒114-8574 東京都北区中里 3-13-2

聖学院みどり幼稚園 児童数:96 人

〒331-0045 埼玉県さいたま市西区内野本郷 820

※学生・生徒・児童数は 2019 年 5 月 1 日現在